

## 臨床実習（Ⅰ・Ⅱ）

責任者・コーディネーター		歯科医療センター長： 口腔顎顔面再建学講座（口腔外科学分野）山田 浩之 教授 総ライター長： 歯科保存学講座（歯周療法学分野）佐々木 大輔 教授		
担当講座（分野）		歯学部臨床科目担当教員		
対象学年	5	区分・時間数	講義/演習	実習
期間	通期		前期	— 465.5時間
			後期	— 721.5時間

### 学修方針（講義概要等）

将来、歯科医師として適切な歯科医療を提供するために、岩手医科大学附属病院および内丸メディカルセンター歯科医療センターで診療参加型臨床実習を行う。本実習を通して、歯科臨床に必要な知識・技能・態度を身につける。

### 教育成果（アウトカム）

患者を全人的・全身的に捉えるMultidisciplinary Comprehensive Careを基本とした態度を養うとともに、歯科医師として必要な基本的臨床能力を習得するため、患者の同意を得て、指導医のもとで実際の歯科医療に携わり歯科医行為を行う診療参加型臨床実習を行う。

（関連するディプロマポリシー：1、2、3、4、5、6、9）

### 到達目標（SBOs）

- 1) 診療の基本  
信頼される安全・安心な歯科医療を提供するために、救急処置法を身に付けるとともに、患者安全対策に配慮した歯科医療を実践し、処置時には適切な疼痛管理(除痛法)を実践する。
- 2) 基本的診察・診断技能  
臨床において患者から症状や異常を聴取し、適切な診察や検査を選択して診断できる技能を身に付ける。
- 3) 症候・病態からの臨床推論  
口腔・顎顔面領域の主な症候・病態から原因疾患を鑑別診断できる基本的能力を身に付ける。
- 4) 診療記録の整理と治療計画立案  
患者から得られた医療情報の取り扱いを理解し、得られた情報を基にする患者中心の治療計画の立案法を身に付ける。
- 5) 基本的治療手技  
安全・安心な歯科医療を提供するために、基本的治療技能を身に付ける。
- 6) 多職種連携、チーム医療、地域医療  
医療チームの一員として介護体験、地域医療に参画する。

### 事前事後学修の具体的内容及び時間

教科書等を用いて事前事後学修（予習・復習）を行うこと。各臨床実習科目に対する事前事後学修の時間は最低30分を要する。本内容は全実習に対して該当するものとする。

（事前学修：最低30分を要する 事後学修：最低30分を要する）

教科書・参考書・推薦図書…予め指定する図書はありません。

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年

### 成績評価方法・基準・配点割合等

#### 1. 実習科目とリクワイアメント

実習科目は17科目とする。リクワイアメントは、総合歯科学200点、その他の科目を各100点とし、17科目合計1800点とする。

[G-1～5]

#### 2. 修了要件

下記の(1)、(2)、(3)、(4)、(5)の要件を満たしていることを臨床実習修了の要件とする。

- (1) 全科目のリクワイアメントを100%以上達成していること。
  - ・前期リクワイアメント：原則として7月末の時点で全科目合計650点を達成すること。
  - ・中期リクワイアメント：原則として12月末の時点で全科目合計1500点を達成すること。  
(上記が達成できない場合は夏期、冬期休暇中の補習等を課す場合がある)
- (2) 臨床実習開始日から臨床実習終了日までの臨床実習の全日程において、4/5以上出席していること。
- (3) 臨床実習後臨床能力試験「一斉技能試験」および「臨床実地試験」に合格していること。
- (4) 介護体験実習および地域医療体験実習を修了していること。
- (5) 岩手医科大学附属病院総合安全教育プログラム研修を2回以上受講していること。

#### 3. 評価方法

##### 1) 基礎点

- (1) 修了要件の(1)、(2)、(3)、(4)、(5)を満たしている場合、基礎点を65点とする。
- (2) 修了要件の(1)、(2)、(3)、(4)、(5)のいずれか一つを満たしていない場合、基礎点を0点とする。

##### 2) 総合評価点

- (1) 各科目において、臨床実習の到達度評価を行い35点満点で評価する。  
※35点の評価方法は各科目の項に記載する。
- (2) 17科目の総合評価の点数の平均を臨床実習の総合評価点とする。

#### 4. 臨床実習の評価点

- (1) 基礎点に総合評価点を加えた点数を臨床実習の評価点とする。
- (2) 評価点が65点以上を臨床実習修了とする。

### 特記事項・その他 (試験・レポート等へのフィードバック方法・アクティブラーニングの実施、ICTの活用等)

必要に応じてWebClassを使用して資料配布、レポートの提出等を行う(各科目による)。学生の出欠確認およびリクワイアメント進行状況の管理は、e-ログブックシステムを利用する。

### 授業に使用する機械・器具と使用目的…Web版シラバスに記載する。

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的

# 1. 総合歯科学

## (歯学教育部門)

実習項目		ミニマム 合計	自験		介助		見学		備考
中項目	小項目		点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	
診療参加型実習	医療面接	60	10	6	0	0	0	0	
	自験メインテナンス	60	10	6	0	0	0	0	
	学習成果のまとめ	20	20	1	0	0	0	0	
ケースプレゼン テーション	発表	30	30	1	0	0	0	0	
	予演会	20	10	2	0	0	0	0	
	CP出席	10	10	1	0	0	0	0	
合計		200		17		0		0	

## 2. 予防歯科学

(予防歯科学分野)

実習項目		ミニマム 合計	自験		介助		見学		備考
中項目	小項目		点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	
定期口腔管理	硬組織検査の記録	10	5	2					
	硬組織検査の実施	5	5	1					
	PCR測定の実施	15	5	3					
	ブラッシング指導の実施	15	5	3					
	口腔ケアの実施	10	5	2					
	機械的歯面清掃の実施	15	5	3					
臨床習熟評価	レポート・口頭試問	10	10	1					
周術期口腔管理	周術期口腔管理レポート	20	20	1					
合計		100		16		0		0	

### 3. 歯内治療学 4. 保存修復学

(う蝕治療学分野)

実習項目		ミニマム 合計	自験		介助		見学		備考
中項目	小項目		点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	
修復	①コンポジットレジン修復	15	15	1	0	0	0	0	
	②ガラスイオノマーセメント修復	15	15	1	0	0	0	0	
	③象牙質知覚過敏処置	10	10	1	0	0	0	0	
	④インレー修復	10	10	1	0	0	0	0	
	⑤修復臨床推論	10	10	1	0	0	0	0	
	⑥その他の修復ケース	10	0	0	1	10	0	0	
歯内	①歯髄疾患の診査	10	5	2	0	0	0	0	
	②浸潤麻酔	10	5	2	0	0	0	0	
	③ラバーダム防湿	10	5	2	0	0	0	0	
	④抜髄法・感染根管処置(初回)	20	0	0	10	2	0	0	
	⑤根管充填	10	0	0	10	1	0	0	
	⑥顕微鏡による根管内の観察	10	0	0	0	0	10	1	
	⑦歯内臨床推論	10	10	1	0	0	0	0	
	⑦その他の歯内ケース	10	0	0	1	10	0	0	
周術期管理 矢巾病院	①周術期の見学、レポート	30	30	1	0	0	0	0	
	②カンファランス出席	10	10	1	0	0	0	0	
合計		200		14		23		1	

## 5. 歯周病学

(歯周療法学分野)

実習項目		ミニマム 合計	自験		介助		見学		備考
中項目	小項目		点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	
配属実習	日数	5	1	5	0	0	0	0	全ての配属実習 に参加することで ミニマム達成とする。
診査	口腔内写真・研究模型採 得・咬合診査	5	5	1	5		0	0	ミニマムケース は、1回の診療に つき、1つの小項 目のみ認める。ミ ニマムケース以外 の処置は全て オーバーケースと する。
	エックス線写真読影	5	5	1	5		0	0	
	歯周組織検査	5	5	1	5		0	0	
歯周基本治療	TBI	6	3	2	3		0	0	
	スケーリング(超音波)	6	3	2	3		0	0	
	SRP	10	5	2	5		0	0	
	PMTc	8	4	2	4		0	0	
	咬合(調整・固定)	10	5	2	5		0	0	
歯周外科治療	準備・介助	13	13	1	13		0	0	
臨床習熟評価	習熟度試験	18	9	2	0	0	0	0	
自験技能試験		9	9	1	0	0	0	0	
合計		100		22		0		0	

オーバーケース点数 1回につき

## 6. 有床義歯補綴学

(有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)

実習項目		ミニマム 合計	自験		介助		見学		備考
中項目	小項目		点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	
義歯外来自験実習	診察・検査・診断、 概形印象採得	5	5	1	0	0	0	0	有床義歯治療を1 症例行う。事前に セッション提出。事 後処置内容提出。
	精密印象採得	5	5	1	0	0	0	0	
	顎間関係の記録	5	5	1	0	0	0	0	
	ろう義歯試適	5	5	1	0	0	0	0	
	完成義歯の装着	5	5	1	0	0	0	0	
技工操作	研究用模型製作	5	5	1	0	0	0	0	技工ケースがない 場合は、アシスト 実習の患者の技工 を代替する。それ でも症例がない 場合に限りレポート とする。
	予備設計、サベイング、 個人トレー	5	5	1	0	0	0	0	
	作業用模型製作、 その他技工操作	5	5	1	0	0	0	0	
義歯外来介助 ・見学実習 (一部自験も含 む)	診察・検査・診断、 概形印象採得	4	0	0	4	1	0	0	義歯外来AIにて義 歯補綴治療の自 験介助見学を行 う。
	精密印象採得	4	0	0	4	1	0	0	
	顎間関係の記録	4	0	0	4	1	0	0	
	ろう義歯試適	4	0	0	4	1	0	0	
	完成義歯の装着	4	0	0	4	1	0	0	
	義歯調整	20	0	0	4	5	0	0	
	義歯修理、フェイスボウ、 その他の補綴治療	4	0	0	0	0	4	1	
新患急患対応実習 (義歯外来A)	新患急患対応	6	0	0	0	0	3	2	急患見学半日×2
臨床習熟評価	習熟度試験	10	10	1	0	0	0	0	
合計		100		9		10		3	

## 7. 冠橋義歯補綴学 (冠橋義歯・口腔インプラント学分野)

実習項目		ミニマム 合計	自験		介助		見学		ミニマム 検印	オーバー ケース検印		実習停止時	
中項目	小項目		点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数					
専門外来自験	検査・予備印象	4	4	1	0	0	0	0					
	支台築造・支台歯形成	4	4	1	0	0	0	0					
	精密印象・咬合採得	4	4	1	0	0	0	0					
	暫間冠作製・調整	4	4	1	0	0	0	0					
	試適・装着	4	4	1	0	0	0	0					
	定期検診	4	4	1	0	0	0	0					
義歯外来介助	検査・予備印象	6	0	0	6	1	0	0					
	支台築造	6	0	0	6	1	0	0					
	支台歯形成	6	0	0	6	1	0	0					
	精密印象・咬合	6	0	0	6	1	0	0					
	暫間冠作製・調整	6	0	0	6	1	0	0					
	試適・装着	6	0	0	6	1	0	0					
義歯外来見学	顎顔面補綴	20	0	0	0	0	10	2					
臨床習熟評価	レポート 口頭試問	20	20	1	0	0	0	0					
合計		100		7		6		2					

## 8. 口腔インプラント学

(冠橋義歯・口腔インプラント学分野)

実習項目	ミニ マム 合計	自験		介助		見学		ミニマム ケース印 (日付)		備考
		点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数			
インプラント一次手術	20	0	0	0	0	10	2	/	/	
インプラント二次手術	10	0	0	0	0	5	2	/	/	
印象採得	10	0	0	0	0	10	1	/		
上部構造装着	10	0	0	0	0	10	1	/		
インプラントメンテナンス	10	0	0	0	0	10	1	/		
臨床習熟評価 (印象採得)	10	0	0	0	0	10	1	/		
臨床習熟評価 (上部構造装着)	10	0	0	0	0	10	1	/		
治療計画立案	20	0	0	0	0	20	1	/		
合計	100		0		0		10			

## 9. 摂食嚥下・口腔リハビリテーション学

(有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)

実習項目		ミニマム 合計	自験		介助		見学		備考
中項目	小項目		点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	
要介護高齢者に対する 歯科診療	歯科診療の準備・片付け	5	5	1	0	0	0	0	
	要介護者への口腔清掃	10	10	1	0	0	0	0	
	要介護者への介護（自験）	10	10	1	0	0	0	0	
	要介護者・介護者への指導	5	5	1	0	0	0	0	
	口腔機能低下症の検査	10	10	1	10		0	0	
嚥下内視鏡検査 嚥下造影検査	嚥下内視鏡検査の操作	10	10	1	0	0	0	0	
	嚥下内視鏡検査（介助）	10	0	0	10	1	10		
	嚥下造影検査（介助）	0	0	0	10		10		
	摂食嚥下リハビリテーション 計画立案	10	10	1	0	0	0	0	
直接訓練 間接訓練 専門的口腔ケア	直接訓練 間接訓練 口腔衛生管理 のいずれか	20	10		10		10	2	
臨床習熟度評価	習熟度試験	10	10	1	0	0	0	0	
合計		100		8		1		2	

オーバーケース

# 10. 口腔外科学

## (口腔外科学分野)

実習項目		ミニマム 合計	自験		介助		見学		備考
中項目	小項目		点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	
医療面接・診察・説明	医療面接・診察（自験）	8	4	2	0	0	0	0	
	診療録の記載（自験）	8	4	2	0	0	0	0	
	拔牙についての説明（自験）	2	2	1	0	0	0	0	
普通拔牙	拔牙機材の準備（自験）	2	2	1	0	0	0	0	
	浸潤麻酔・拔牙操作（介助）	6	0	0	2	3	0	0	
	浸潤麻酔・拔牙操作（自験）	2	2	1	0	0	0	0	
	拔牙後の注意事項（自験）	6	2	3	0	0	0	0	
	拔牙後の処方（自験）	6	2	3	0	0	0	0	
	拔牙後の経過観察、処置（自験）	2	2	1	0	0	0	0	
外来小手術	器械器具の準備（自験）	3	2	1	0	0	1	1	
	手術時手洗い（自験）	6	2	3	0	0	0	0	
	滅菌グローブの装着（自験）	7	2	3	0	0	1	1	
	手術の介助（介助）	8	0	0	2	3	2	1	
一般診療	粘膜疾患の診療	4	0	0	0	0	2	2	
	顎関節疾患の診療	4	0	0	0	0	2	2	
	教授の診療見学	2	0	0	0	0	2	1	山田教授 または 小川准教授 または 川井准教授
病棟実習	教授回診（見学）	2	0	0	0	0	2	1	
	症例検討会（見学）	2	0	0	0	0	2	1	
	全身麻酔手術（見学）	8	0	0	0	0	2	4	
	頭頸部腫瘍センターの手術（見学）	4	0	0	0	0	4	1	大橋先生が承認
臨床習熟評価	教授の口頭試問	2	2	1	0	0	0	0	木曜朝カンファ後
	レポート課題（外来）（自験）	2	2	1	0	0	0	0	ライター長に提出
	レポート課題（全麻手術）（自験）	4	2	2	0	0	0	0	執刀医に提出
合計		100		25		6		15	

# 11. 歯科麻酔学

## (歯科麻酔学分野)

実習項目		ミニマム 合計	自験		介助		見学		備考
中項目	小項目		点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	
鎮静法	麻酔チャート記録	10	10	1	0	0	0	0	
	診療録記載	5	0	0	0	0	5	1	
	モニタ装着	10	10	1	0	0	0	0	
	点滴回路準備	5	0	0	5	1	0	0	
	術後指示	5	0	0	0	0	5	1	
全身麻酔	医療面接（病歴聴取）	5	0	0	0	0	5	1	
	診療録記載	5	0	0	0	0	5	1	
	術前指示	5	0	0	0	0	5	1	
	人工呼吸	5	0	0	5	1	0	0	
	喉頭展開	5	0	0	5	1	0	0	
疼痛治療症例 静脈路確保実習	医療面接（病歴聴取）	5	0	0	0	0	5	1	
	清潔操作	5	0	0	0	0	5	1	
	静脈路確保（マネキン）	5	5	1	0	0	0	0	
	点滴回路実習	5	5	1	0	0	0	0	
レポート	実習帳内	10	10	1	0	0	0	0	
臨床習熟評価	口頭試問	10	10	1	0	0	0	0	
合計		100		6		3		7	

## 12. 歯科放射線学

### (歯科放射線学分野)

実習項目		ミニマム 合計	自験(相互)		介助		見学		備考	
中項目	小項目		点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数		
エックス線検査 口内法撮影	二等分法	16	2	8	0	0	0	0		
	咬翼法	2	2	1	0	0	0	0		
	咬合法	2	2	1	0	0	0	0		
	事前学習レポート	2	2	1	0	0	0	0		
	口内法撮影評価試験	10	10	1	0	0	0	0		
エックス線検査 口外法撮影	パノラマX線撮影	4	2	1	2	1	0	0		
	頭部エックス線規格撮影	2	0	0	0	0	2	1		
	顎関節撮影 (シュラー)	2	0	0	0	0	2	1		
	(オルビトラムス)	2	0	0	0	0	2	1		
	他単純エックス線撮影	2	0	0	0	0	2	1		
	胸部エックス線撮影	2	0	0	0	0	2	1		
胸部エックス線 写真の基本	放射線画像診断基礎、 胸部エックス線写真の基本	3	3	1	0	0	0	0		
エックスCT検査	CBCT	2	0	0	0	0	2	1	※左記の6項目 については1班 ごとに見学し、 後日レポートを 提出する。	
	CBCT再構成	2	2	1	0	0	0	0		
	MDCT	2	0	0	0	0	2	1		
MR I 検査	造影、非造影	2	0	0	0	0	2	1		※CBCT再構成 は配属期間中 もしくは白枠い ずれかで行う。
核医学検査	骨、腫瘍シンチグラフィ	2	0	0	0	0	2	1		
超音波検査	頭頸部超音波検査	2	0	0	0	0	2	1		
施設見学レポート	事後レポート	4	4	1	0	0	0	0		
疾患読影	疾患読影 (典型例共通穴埋め式)	5	1	5	0	0	0	0		
	疾患読影	20	2	10	0	0	0	0		
臨床習熟評価	口頭試問	10	10	1	0	0	0	0		
合計		100		32		1		10		

# 13. 歯科矯正学

## (歯科矯正学分野)

実習項目		ミニマム 合計	自 験		介 助		見 学		備 考
中項目	小項目		点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	
患者の見学・介助	患者の見学・介助	45	3	15	0	0	0	0	
実技実習	実技実施ケース	20	2	10	0	0	0	0	
症例検討会の参加	症例検討会	5	5	1	0	0	0	0	
到達度試験	到達度試験	10	5	2	0	0	0	0	
小テスト課題①	小テスト①	5	5	1	0	0	0	0	a. 顎顔面、歯列と咬合の発育と全身成長の関わり、b. 正常咬合の概念と成立の条件、不正咬合の種類、分類と原因
小テスト課題②	小テスト②	5	5	1	0	0	0	0	c. 不正咬合の診察・検査、分析、d. 矯正用材料とその特性、矯正用器械器具、装置（製作法を含む）
小テスト課題③	小テスト③	5	5	1	0	0	0	0	e. 矯正治療における抜歯、診断、治療計画の立案、f. 矯正力と生体反応、固定
小テスト課題④	小テスト④	5	5	1	0	0	0	0	g. 代表的な不正咬合の治療法、h. 保定、矯正治療に伴う偶発症
患者の見学・介助	オーバーケース				0	0	0	0	
合計		100		32		0		0	

# 14. 小児歯科学

## (小児歯科学・障害者歯科学分野)

実習項目		ミニマム 合計	自験		介助		見学		備考
中項目	小項目		点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	
小児の治療	修復・歯内療法	10	10		4		10	1	
	誘導・外傷・その他	5	10		4		5	1	
	健診	3	10		4		3	1	
	見学ケース	10	0	0	0	0	2	5	
定期健診	歯面清掃	10	10	1	0	0	0	0	
	ブラッシング指導	10	10	1	0	0	0	0	
	フッ化物塗布	10	10	1	0	0	0	0	
小児歯科課題	リーフレット作成	4	4	1	0	0	0	0	
	到達度試験	4	4	1	0	0	0	0	
	レポート	4	4	1	0	0	0	0	
	習熟度テスト	10	10	1	0	0	0	0	
	口頭試問①	10	10	1	0	0	0	0	
臨床習熟度評価	口頭試問②	10	10	1	0	0	0	0	
合計		100		9		0		8	

オーバーケース点数 1回につき

# 15. 障害者歯科学

(小児歯科学・障害者歯科学分野)

実習項目		ミニマム 合計	自験		介助		見学		実習停止時
中項目	小項目		点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	
定期診査	口唇・口腔内の診察	30	10	3	0	0	0	0	スライド説明 および 相互実習
	口腔衛生指導	30	10	3	0	0	0	0	
	口腔疾患予防処置	10	0	0	5	2	0	0	
	移乗	10	0	0	5	2	0	0	
レポート課題	レポート提出（定期診査症例）	10	10	1	0	0	0	0	
臨床習熟評価	口頭試問	10	10	1	0	0	0	0	
合計		100		8		4		0	

レポート提出について

実習終了後2週間以内に提出。用紙はA4手書き。

# 16. 内科学

(関連医学分野)

実習項目		ミニマム 合計	自験		介助		見学		備考
中項目	小項目		点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	
内科的診察	血圧測定の原理と臨床的意義の説明	10	10	1	0	0	0	0	
	聴診のI音、II音の聴診と触診	10	10	1	0	0	0	0	
心電図記録および判読	自己の12誘導心電図の所見	10	10	1	0	0	0	0	
	代表的不整脈（心室細動、心静止、心房細動）	10	10	1	0	0	0	0	
採血と検査の意義	血液検査より貧血と血液疾患の説明ができる。	5	5	1	0	0	0	0	
	生化学検査より腎臓疾患、肝臓疾患、糖尿病、メタボリック症候群の説明ができる。	10	10	1	0	0	0	0	
	感染症－ウイルス肝炎の診断を対応	5	5	1	0	0	0	0	
実習事項に関する口答試問		20	20	1	0	0	0	0	
実習事項に関するレポート		20	20	1	0	0	0	0	
合計		100		9		0		0	

# 17.臨床薬学

## (薬剤部)

実習項目		ミニマム 合計	自験		介助		見学		備考
中項目	小項目		点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	
医薬品の取り扱い	医薬品に関する基礎知識	5	0	0	0	0	5	1	
	法的規制のある医薬品	5	0	0	0	0	5	1	
医薬品情報	添付文書	5	0	0	0	0	5	1	
	医薬品情報の入手	5	0	0	0	0	5	1	
	健康被害救済制度	5	0	0	0	0	5	1	
歯科繁用医薬品	歯科領域で使用する薬剤	10	0	0	0	0	10	1	
	高齢者、妊産婦・授乳婦、 小児への投与	5	0	0	0	0	5	1	
処方箋の書き方	処方箋の記載事項	5	0	0	0	0	5	1	
	処方箋の作成	10	10	1	0	0	0	0	
	電子カルテでの処方オーダー	10	10	1	0	0	0	0	
チーム医療における 薬剤師との関わり	薬剤師の役割	5	0	0	0	0	5	1	
	歯科用院内製剤	5	0	0	0	0	5	1	
歯科医師による 服薬指導	歯科専用医薬品	5	0	0	0	0	5	1	
	持参薬・お薬手帳の確認	10	10	1	0	0	0	0	
	処方薬の説明	10	10	1	0	0	0	0	
合計		100		4		0		11	